

令和5年度明るい選挙啓発ポスター 作品募集(第75回)要項

① 趣旨 私たちが豊かで幸せな生活をおくるには、立派な政治が行われなければなりません。その政治は選挙によって選ばれた人たちによって行われます。だから選挙が明るく正しく行われなければなりません。そこで、全国の児童、生徒の皆さんに、明るい選挙を呼びかける印象的なポスターをかいていただきたいのです。

② 応募規定

① 内容

明るい選挙を呼びかけることを内容に、自由に表現してください。

② 応募資格

小学校児童、中学校・高等学校の生徒

③ 募集期間

令和5年5月8日(月)から令和5年9月8日(金)まで

④ 締切日と提出先

令和5年9月8日(金)までにあなたの住んでいる市区町村または通学している学校のある市区町村の選挙管理委員会に提出してください。

※市区町村によって異なることがありますので、詳しくは最寄りの選挙管理委員会にお尋ねください。

⑤ 画材

描画材料は自由(紙や布など、絵の具材料だけに限りません)

⑥ 大きさの基準

画用紙の四ツ切(542mm×382mm)、八ツ切(382mm×271mm)もしくはそれに準じる大きさ

⑦ 応募上のご注意

- (1) 他者の著作物(インターネット等にある写真やイラスト等)を模倣した作品は、応募できません。オリジナル作品に限ります。
- (2) 作品のうら右下に、都道府県名、学校名、学年、氏名(ふりがな)を必ず記入してください。
- (3) 応募作品は、原則として返却しません。
- (4) 入賞作品の著作権は主催者に属し、作品は自由に利用させていただきます。
- (5) 入賞者の学校名、学年及び氏名を公表させていただきます。

③ 審査

① 第1次審査

各市区町村選挙管理委員会において、小・中・高別に選びます。

② 第2次審査(地方審査)

各都道府県選挙管理委員会において、小・中・高別に応募数に応じ、所定の点数を選んだうえ、第3次審査(中央審査)へ提出します。

③ 第3次審査(中央審査)

第2次審査で選ばれた作品について、下記審査員により入賞作品を決定します。

文部科学省・総務省・公益財団法人明るい選挙推進協会・都道府県選挙管理委員会連合会の各代表審査員

④ 賞

① 小・中・高別に次の賞を贈ります。

(1) 文部科学大臣・総務大臣(連名)の賞状と公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長(連名)からの副賞

- 小学校：各学年1名 ● 中学校：各学年2名 ● 高等学校：各学年2名

(2) 公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長(連名)の賞状と副賞

- 小学校・中学校・高等学校：各学年若干名

② 第3次審査(中央審査)に提出された方全員に、公益財団法人明るい選挙推進協会会長から記念品を贈ります。

⑤ 発表

11月初旬の予定

主催：公益財団法人明るい選挙推進協会 都道府県選挙管理委員会連合会 都道府県選挙管理委員会 市区町村選挙管理委員会
後援：文部科学省 総務省 都道府県教育委員会 市区町村教育委員会

公益財団法人 明るい選挙推進協会

〒102-0082

東京都千代田区一番町13-3 ラウンドクロス一番町 7階

電話 03-6380-9891

お問い合わせ・ポスターの提出先は
市区町村の選挙管理委員会に
お願いします。



しょう がっ こう
小学校
こう がく ねん
(高学年)

ひと つた 「人に伝える」ということを身近な経験や社会に目を向けて
じぶん かんが かんが かんが かんが かんが
自分なりに考えたり、想像を広げたりしたことなどから
あか せんきょ ひょうげん たいせつ
「明るい選挙」のイメージをふくらませて表現することが大切です。



小学校5年生 山梨県 高橋 杏奈 さん

はいけい むさいしやく えが がめん ちゅうしん どうひょうばこ
背景は無彩色で描かれ、画面の中心にある投票箱からは虹が出て
いて、その周りの建物は様々な色で塗られています。このように、
もじ え かんれん づ えが み ひと つた ないよう いんしやう
文字と絵を関連付けて描くことは、見る人に伝えたい内容を印象
てき つた
的に伝えることにつながります。

ヒント
3

もじ え かんれん づ えが
文字と絵を関連付けて描く



小学校6年生 新潟県 日野 宗悦 さん

がめん を 7 つ に 分けて、学生やお
としよ かた しょうぼうし
年寄りの方、消防士やサラリー
マンの方など、様々な年齢や職
しゆ ひと えが はいけい
種の人たちが描かれ、背景か
らも様々な暮らしが伝わって
きます。このように自分の見た
ことや知ったことなどから想
えが ひろ えが せんきょ
像を広げて描くことで、選挙に
ついてしっかりと考えることの
たいせつ つた
大切さが伝わってきます。

ヒント
4

み ちか けいけん そう そう ひろ えが
身近な経験から想像を広げて描く

ちゅう がっ こう
中学校
こう とう がっ こう
高等学校

じぶん つた みる ひと たち ば た
自分が伝えたいことを見る人の立場に立って、
なに つた かんが え もじ く ふう えが たいせつ
何をどのように伝えるのかを考えて、絵や文字を工夫して描くことが大切です。



中学校2年生 栃木県 岩崎 叶佳 さん

どうひょうばこ そと ふたり
投票箱を外からのぞく2人、そ
なか どうひょう どうひょうよう
の中では、投票された投票用
し ちい わ がっこう こう
紙が小さく分かれ、学校や公
えん びやういん みらい まち
園、病院などといった未来の街
へと変わっていきます。このよ
うに、未来に向けて想像を広
えが み ひと あか
げて描くことは、見る人に明る
みらい そうぞう
い未来を想像させることにつ
ながります。

ヒント
5

みらい む そうぞう えが
未来に向けて想像して描く



高校2年生 愛媛県 大内 優 さん

しょうじょ あたま みらい びやう
少女の頭のところは未来の病
いん ゆうえん ち ふりよくほつでん
院や遊園地、風力発電などが
描かれ、また、中心にある投票
ばこ えが どうひょう
箱となったビルは描かれてい
る途中です。このように、独創
てん してん かんが えが
的な視点で考えて描くことで、
み ひと つよ いんしやう あた
見る人に強い印象を与えたり、
かんが
考えさせたりすることにつ
ながります。

ヒント
6

どく そう てき してん かんが えが
独創的な視点で考えて描く